

イベント

「青春賞・新人賞作家 大いに語る！」



登壇者



川勝浩人 (かわかつ ひろと)

1997年3月28日生まれ。神奈川県藤沢市在住。慶應義塾大学商学部在学。「ママの犬」で第35回織田作之助青春賞受賞。

織田作之助青春賞作家

×

三田文学新人賞作家

司会：岡英里奈 (『三田文学』編集部)



佐藤述人 (さとう じゅっと)

1995年生まれ。東京都在住。日本大学芸術文芸学科在学。「ツキヒツジの夜になる」で第24回三田文学新人賞受賞 (『三田文学』133号掲載)。

【第一部】 新人賞作家対談

「織田作之助青春賞」をめぐって

『三田文学』136号掲載

【第二部】

シンポジウム

—— 短篇の魅力・小説に
おける地方性

目指せ
青年作家!



柏木治 (かしわぎ おさむ)

関西大学文学部教授。専門は19世紀フランス文学及びフランスを中心とするヨーロッパ文化論。著書に「スタンダールのオイコノミア～経済の思想、ロマン主義作家であること～」 「ヨーロッパ人相学 顔が語る西洋文化史」など。



堂垣園江 (どうがき そのえ)

小説家。講談社「群像」より、ボスニアの内戦を描いた「足下の土」でデビュー。2001年、メキシコを舞台に「生と死」を問う長編「ペラクルス」で野間文芸新人賞受賞。著書に「うつくしい人生」「グッピー・クッキー」など。



吉村萬壺 (よしむら まんいち)

愛媛県松山市生まれの小説家。大阪府で育つ。2001年、「クチュクチュバーン」で第92回文学界新人賞を受賞し、作家デビュー。2003年、「ハリガネムシ」で第129回芥川賞受賞。2010年より、織田作之助青春賞の選考委員を勤めている。

挨拶：大石裕 (慶應義塾常任理事)・伊地知克介 (毎日新聞大阪本社学芸部長)

聞き手：関根謙 (慶應義塾大学前文学部長・『三田文学』編集長)

主催：三田文学会・慶應義塾大学文学部

後援：織田作之助賞実行委員会 (大阪市、大阪文学振興会、
関西大学、パソナグループ、毎日新聞大阪本社)

対象：高校生、大学生、一般、三田文学会会員

期日：2019年3月7日 (木) 18時00分～20時
(開場：17時30分)

参加費：無料

会場：慶應大阪シティキャンパス

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1

グランフロント大阪 ナレッジキャピタル

北館タワーC 10階

慶應大阪シティキャンパスMap



北館1階Map



お問合せ：mitabun@muse.dti.ne.jp (三田文学編集部)

※ご予約は承っておりませんので、当日お早めにご来場ください。